

## スプレー缶などの処分方法に注意を

昨年12月、スプレー缶の処分方法が原因で大きな火災事故が発生しました。中身の残ったスプレー缶、カセットボンベ、ライターをそのままごみステーションに出すと、ごみ収集車内でガスが漏れて火災が発生し、収集作業員や通行人、車両や周辺建物、ごみ処理施設などに重大な被害を及ぼす恐れがあり、大変危険です。

### <出し方>

#### ①缶は振って中身を確認しましょう。

中身があると「シャカシャカ」などの音がします。

#### ②中身を使い切らしましょう。

中身を使い切ってから、風通しのよい場所で火気に注意し、安全に配慮して缶に穴を開けてください。ガス抜きや廃棄方法が缶に表示されている場合は、それに従ってください。

#### ③「不燃ごみ」の日に出しましょう。

ガスボンベは卓上コンロから出してください。

- 中身が出せない・穴が開けられないなどの場合は、資源リサイクルセンターにご相談ください。

☎ 問合せ 資源リサイクルセンター ☎35-1244



## 森林所有者の皆さまへ

### ～新たな森林経営管理制度がスタートします～

森林の適切な経営や管理が行われないと土砂災害の防止や水源かん養などに影響を及ぼすことが懸念されます。

このため、平成31年4月から森林経営管理法に基づく新たな森林経営管理制度がスタートし、森林の適切な経営や管理を進めることとしています。

森林経営管理法には、森林所有者の皆さんが所有している森林を適切に経営や管理しなければいけないことや市からの働きかけを行うことが明確化されています。

今後、森林所有者の皆さんに森林の状況等を把握するための意向調査を実施する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

☎ 問合せ 林務課 ☎35-3143



## <資源リサイクルセンター>

調査項目	調査場所	測定値	基準値	単位	測定日
排ガス	焼却施設(集合煙突)1回目	0.031	1	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	平成30年8月6日
	焼却施設(集合煙突)2回目	0.055			平成30年11月5日
焼却灰 飛灰	焼却施設	0.0018	3	ng-TEQ/g-dry	平成30年8月6日
		1.8	3(※)		
排水	第1次埋立処分地処理水	0.0065	10	pg-TEQ/ℓ	平成30年9月12日
	第2次埋立処分地処理水	0.76			
土壌	三福寺町公民館	0.068	1000	pg-TEQ/g-dry	平成30年8月6日
	下三福寺町(給食センター)	2.3			
	有斐ヶ丘町公民館	0.017			
	東山台公民館	0.37			
	東山台集会所	1.3			

## <久々野クリーンセンター>

調査項目	調査場所	測定値	基準値	単位	測定日
排ガス	焼却施設(1号炉)	0.075	5	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	平成30年10月25日
	焼却施設(2号炉)	0.21			平成30年10月26日
焼却灰 飛灰	焼却施設	0.080	3	ng-TEQ/g-dry	平成30年10月25日
		2.3	3(※)		
排水	埋立処分地処理水	0.0042	10	pg-TEQ/ℓ	
土壌	久須母公民館	0.064	1000	pg-TEQ/g-dry	

(※) 飛灰(排ガスのろ過により集めたばいじん)は、有害物質が溶け出さないように薬剤で固めてから埋立しているため、基準値は適用されません。なお、掲載している測定値および基準値は薬剤処理前のものです。

[単位] ng(ナノグラム): 10億分の1グラム pg(ピコグラム): 1兆分の1グラム

TEQ(ティーイーキュー): 毒性等量といい、ダイオキシン類の種類ごとに異なる毒性の強さを考慮して算出した濃度であることを示すものです。

例えば 1ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nは、排ガス1立方メートル(1気圧、0℃)当たり、ダイオキシン類が10億分の1グラム含まれていることを表します。

☎ 問合せ 資源リサイクルセンター ☎35-1244 広報ID 1001259

**ダイオキシン類濃度測定の結果について**

ごみ処理施設の資源リサイクルセンターと久々野クリーンセンターでは、毎年、法に基づきダイオキシン類濃度を測定しています。また、周辺の土壌についても測定しています。なお、下記のとおり測定結果いずれも基準値を下回っていました。

また、市HPの維持管理情報には、ダイオキシン類以外の有害物質の測定結果や施設の運転状況についても掲載しています。

